



YMCA News



2023年 9月1日発行
1947年 10月27日発行
公益財団法人広島YMCA
〒730-8523
広島市中区八丁堀 7-11
Tel 082-228-1151
Fax 082-211-0366
<https://www.hymca.jp/hymcagcc/>
発行人 / 竹井幸義
編集人 / 中奥岳生
印刷 / 広島YMCA

広島YMCAは2023年10月25日に85周年を迎えます。

85周年を迎えられることに感謝

広島YMCA 総主事 竹井幸義



広島YMCAは今年85周年を迎えることができました。ひとえに、YMCA活動にご理解ご協力を賜りました会員の皆様、理事・常議員の皆様、ワイズメンズクラブの皆様、ガーデニアクラブの皆様等、そして広島YMCAの立ち上げから今日まで、地域に必要とされるYMCAになれるよう取り組んでくださいました諸先輩方・現スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

広島YMCAは日本が戦争に向かっていく中、青年が徴兵で少なくなる前に「礎石だけは残しておこう」との青年たちの思いで、1938年10月25日発会式を行いました。

1945年8月6日の原子爆弾により、多くの会員や理事、活動拠点すべてが壊滅状態となりながらも、残された会員は広島市の復興、広島YMCAの復興を目指し、原爆投下から3ヶ月後の1945年11月には活動を再開されたそうです。

1950年代に入り、保育園事業、キャンプ事業、英語事業、体育事業を次々と導入し、1970年代にはビジネススクールや大学予備校など多くの青少年が明日への希望を胸にYMCAのプログラムに参加していました。

また、広島以外にも福山、尾道、三原、呉、東広島、安古市、高陽、府中、五日市、三次、岩国、米子など、それぞれの地域で、その時代に求められる人材育成を行い、事業を拡大してまいりました。今ではその役割を終え、終了している事業や拠点はございますが、これまでYMCAでは地域に根差した活動を行ってまいりました。

事業を拡大していきながらも、広島YMCAは平和活動にも力を注いでいます。原爆の子の像の建立や原爆ドームの保存活動にも大きく関わっています。

また「将来、友人のいる国とは争いはしない」と考える若者を増やすことを目指し、国際交流を積極的に行っています。ハワイ・ホノルルYMCAユース交流プログラム「Let's Get Together」や、そこから発展して始まった、国内外の高校生を広島に集めて行う平和を考える高校生の集い「International Youth Peace Seminar」、広島と同じような戦争被害のあったドイツ・ハノーバーYMCAとの交流プログラム「Global Youth Friendship」などは、現在も継続して行っております。

戦時下の1938年に「広島にもYMCAを」という思い、原爆投下後もいち早

く復興を願っての活動開始など、先人の熱い思いを忘れることなく、広島YMCAの使命達成に向けて、これからも各拠点で必要とされるYMCAを目指してまいります。



1844年、イギリスのロンドンにおいてジョージ・ウィリアムズと11人の仲間によってYMCAが創立されました。それから36年後の1880年、日本で初の東京YMCAが誕生し、創立者の小崎弘道は、「Young Men」を訳すのに苦心した結果、『青年』という言葉を作り出しました。

1890年にはこの広島においても、最初の基督教青年会が誕生しましたが、日清戦争が始まり、記録の中から消えていきました。蒔かれた種は半世紀を経て、軍靴の足音が高くなった1932年に青年たちの中から広島YMCA設立の声が起りはじめ、1935年11月には広島YMCAの精神的設立と言われた広島YMCA設立相談会が行われました。戦時体制の進行にともない青年が徴兵で少なくなる中、「礎石だけは残しておこう」との思いが、1938年10月25日、広島女学院講堂において広島YMCAの発会式となったのです。発会式で読まれた聖句はこれから始まるであろう戦争にむけた創始者達の悲痛な思いが込められています。

【礎（いしづえ）】

**希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。
あなたがたを迫害する者のために 祝福を祈りなさい。
祝福を祈るのであって、呪ってはなりません。
できれば、せめてあなたがたは、
すべての人と平和に暮らさなさい。**

ローマの信徒への手紙12章12-18節抜粋

10月25日（水）85周年創立記念礼拝は職員対象で行います。



日本福音ルーテル広島教会
立野 泰博 牧師

周年行事でもある創立記念日の記念礼拝ですが、2019年度までは10月25日に実施をしておりました。2020年度からは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、礼拝自体もソーシャルディスタンスを保ちながら、讃美歌も歌えない状態で、時間を短縮した対面形式とYOU TUBE配信などのハイブリット形式で3年間を過ごすこととなりました。

今年の5月からはコロナ禍も収束に向かいつつありますので、4年ぶりの創立記念礼拝を2023年度チャプレンに就任頂いた日本福音ルーテル広島教会の立野泰博牧師司式の元、実施することといたしました。しかし、広島県においては夏から秋にかけてコロナウイルス感染者も増加傾向にもありますので、85周年の創立記念礼拝に関しましては、職員のみで実施したいと思います。2024年度こそは会員の皆様とともに祈りの時間を持ちたいと思います。

世界の若者が平和国際交流

Youth Peace Seminar 2023 8/4-8/7

このプログラムを毎年企画・運営するのは、国際コースリーダーたちです。3年前コロナ禍で再始動したリーダーたちにとって待ちに待った国際プログラムでした。国際交流や平和発信をしたい、社会問題にアクションを起こしたい、というそれぞれの思いを具体化できるチャンスでもあり、直前まで話し合いプログラムを準備しました。

今年は「Story」というテーマで、過去から学び、今の世界へ目を向け、未来への願いをカタチにする、というストーリー仕立てのプログラムが完成。参加者は共に被ばく証言を聴き、資料館を見学して、それぞれの思いや考えを共有し、平和のために何ができるか話し合いました。最終日のグループ発表では、テクノロジーの正しい利用や世界規模の交流を用いた希望のある「未来のカタチ」を描いて見せてくれました。

ピースセミナーは国内外から参加者が集まることでさまざまな視点から平和について考える機会となり、同時に世界に友だちの輪が広がる、YMCAとしても意義の大きいプログラムです。毎年多くの若者が広島に集い、この体験を分かち合ってもらいたいと思います。



担当 外語学院 渡邊 裕子



広島ーホノルル国際交流

Let's Get Together 2023 7/24-8/3

5年ぶりにホノルルから学生を受け入れ、7月24日から8月3日までの11日間、Let's Get Togetherプログラムを行いました。ホノルルからは9名の学生が参加をし、広島の中高生とのキャンププログラム等を通して親交を深めました。7月28日から31日の期間はホストファミリーの家にホームステイをして過ごしました。

プログラムの最初は緊張していた様子もありましたが、さよならパーティーではお互い涙を流して別れを惜しんでいました。

コロナも明け、渡航制限が解除されてから久しぶりに対面での実施になりましたが、やはり顔を見て直接言葉を交わすことが親交を深める一番の方法だと改めて感じました。

来年以降もこのすばらしい交流が続いていくことを願います。

担当 専門学校 牧野 円香



世界の平和メッセージを届ける 平和の灯ろう流し 2023 8/6

広島にとっての「平和と祈り」である8月6日、広島YMCAとしては19年目（4年ぶり）の「平和のとうろう流し」を、子どもたちや家族、ピースセミナー参加者、YMCAスタッフ・ボランティアなど総勢約220名により実施いたしました。

今年も世界中のYMCAの子どもたちから贈っていただいた多くのランタンを、広島の子どもの手でも組み立て、平和記念公園親水テラスにて、一人ひとりのランタンに火が灯され、平和の願いと共に丁寧に元安川に流されました。

担当 保育園 家守 治司



みつかる。つながる。よくなっていく。～多様性を認め合えるように～ 広島YMCAチャリティーバザー 2023 10/1

広島YMCAチャリティーバザーが10月1日に開催されます。今年は関わるすべての人たちが思いを一つにして取り組めるよう、「みつかる。つながる。よくなっていく。～多様性を認め合えるように～」をテーマに4年ぶりにバザーを再開・実施することになりました。目標は今まで行ってきた従来通りのバザーを復活させ、「多様性を認め合う社会の実現」に向けて地域の皆さんとともに楽しい1日にしたいと考えています。皆様、ぜひ10月1日（日）は、広島YMCAにお越しください。

●各種模擬店 ●掘り出し物いっぱい のみの市 そのほか

※留学生参加の国際色豊かな広島YMCA専門学校の学園祭も同時開催。



2019年度バザーのみの市



広島YMCA専門学校 学園祭

2019年度のバザーより



フェイスペインティング



おもちつき



子ども広場



世界のビール